

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (東北)	◎	衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・セールがスタートしたがセール品よりも高額定価品の購買が多くみられ、その分がプラスになっている。
	◎	衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・今月は大きなイベントとして初売りがあったが、帰省客の動きが非常に良かった。前年は全く動きがなかったの で、前年と比べて実績が非常に良くなっている。
	○	一般小売店〔医 薬品〕(経営 者)	販売量の動き	・売上、販売量共に通常よりも良く、前年を超えている。 再び新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しているな かで、抗原検査キット、PCR検査キット、消毒液等の供 給が増えている状況にある。
	○	百貨店(営業担 当)	来客数の動き	・現在は新型コロナウイルス感染の拡大局面であるが、来 客数は前年を超えている状況である。
	○	スーパー(経営 者)	単価の動き	・1月は平均1品単価が前年を超えている。食品等の値上 げが相次ぎ、その影響が出てきたと考えられる。また、新 型コロナウイルス新規感染者数の急激な増加により、単籠 り需要も始まり外食が減ったためか、食品小売の来客数は 前年を超えている。ただ、買上点数が伸びず、客単価も前 年割れだったので、全体としての消費は前年同様、横ばい の推移となっている。
	○	スーパー(店 長)	単価の動き	・3か月前と比較すると客単価が1月中旬から上がって いる。新型コロナウイルス新規感染者数増加が影響して いるとみている。
	○	スーパー(店 長)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況の変化から、飲食コー ナーの売上は下がっているが、商品の利益は増している。
	○	コンビニ(経営 者)	来客数の動き	・来客数が前年比でプラス5%、売上も8%プラスになっ ている。夕方から夜間の酒関連のドリンクが前年比320%に なっている。明らかにコロナ疲れの人たちが夜の街に出て きたという感じがする。
	○	コンビニ(経営 者)	単価の動き	・来客数は横ばいであるが、単価が増加傾向にあり、結果 として販売金額の増加につながっている。
	○	コンビニ(エリ ア担当)	来客数の動き	・秋口と比べ年末年始は来客数が増加している。以降も前 年との比較では多少良くなっている。
	○	家電量販店(店 長)	販売量の動き	・前年末に支給された10万円の子育て世帯への臨時特別給 付で消費が拡大している。買換え需要のほかに、オーディ オ製品などの購入も増えている。客の消費動向に良い影響 があったようである。また、寒さもあり暖房商品がよく売 れている。
	○	自動車備品販売 店(経営者)	お客様の様子	・前年末からの例年より多い降雪により、除排雪に関係す る業者の稼働率が大変上がっており、それに関連する修 理、ガソリンスタンドは忙しくなっている。また、冬場は 休みの多い大工等も屋根の雪下ろしなどで忙しそうであ る。
	○	遊園地(経営 者)	来客数の動き	・1月は上旬のみの営業であった。穏やかな天候で新型コ ロナウイルスも収まっていたので、前年よりも好調に推移 した。
	○	競艇場(職員)	来客数の動き	毎年12月と1月は来客数が増えるので、その他の月に比べ ると多少多くなっている程度である。
	□	一般小売店〔医 薬品〕(経営 者)	販売量の動き	・来客数が少なくなっているが、その分客単価が上がって おり、売上は横ばいとなっている。
	□	百貨店(売場主 任)	来客数の動き	・11～12月と来客数が改善傾向にあった。しかし今月は、 初売りは良かったものの第2週以降再び減少し始め、10月 の水準に戻ってしまっている状況である。
□	スーパー(営業 担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルス新規感染者数の増加から、単籠り、 まとめ買い傾向が強まっている。また、学校休校や大雪に よる影響もあり、近場での買物が増えている。警戒心から か来客数が増加していない。	
□	コンビニ(経営 者)	来客数の動き	・来客数が少しずつではあるが戻っている。	
□	コンビニ(経営 者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で感染者が拡大 しているため、人の動きが鈍くなっている。	

□	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置の適用が全国的に広がっており、人の動きが非常に鈍くなっている。売上は前年同様、悪いまま推移している。
□	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・回復するかと思ったが、急激な感染拡大で先行きが見えなくなっている。
□	コンビニ（店長）	単価の動き	・原油価格の高騰でガソリンや灯油などの値上げが続いているせいか、消費者はいろいろな商品の値上げに敏感になっており、いつもより1品少なく買ったり、低価格のものを選ぶような状況になっている。
□	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・県内でも新型コロナウイルスオミクロン株の感染が多発して人出が激減し、来客数も減少しているが、高校の制服販売の時期でもあり、新型コロナウイルスの感染症対策を徹底した売場造りを行い、売上確保に懸命である。
□	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・前年と比べても3か月間の来客数や販売実績にも大きな変化はなく、既存の客の入庫台数も変わらない。
□	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響により思うように工場が稼働していない。受注は増加傾向にあるが、配車が読めず、登録に結び付かない。
□	乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・直近では中古車販売の実績が非常に悪い。在庫も少なく商品確保がかなり厳しくなっている。
□	住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・近年、客の仏具類への関心が薄れてきているので当店の来客数も減少しているが、今月は何とか売上を確保している。
□	その他専門店 [靴]（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株による新規感染者数の増加により、来客数が減少している。
□	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・客の購買意欲に変化がみられない。
□	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染が再び拡大傾向になっているが、景気は変わっていない。
□	観光名所（職員）	単価の動き	・感染状況の変化により団体の予約状況は落ちている。しかし、団体予約がなくなった分、少人数の振り客が増えており、訪れた客に関してはよく金を落としてくれている実感があるため、それほど状況は変わっていない。
□	美容室（経営者）	お客様の様子	・常連客しか来店しない。
□	その他住宅 [リフォーム]（従業員）	販売量の動き	・リフォームについては、資材の納品遅れが改善し増改築工事が増えている。住宅設備機器については温水ルームヒーター交換工事が増えている。
▲	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株による新規感染者数の増加により、戻りつつあった景気が悪化している。
▲	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者数急増でまた身動きが取れなくなっている。建設業は活気があるにもかかわらず、小売業までは潤っていない。
▲	百貨店（買付担当）	来客数の動き	・数か月回復基調だったが、当月は悪天候、降雪、新型コロナウイルスオミクロン株といった複数要因が影響し、後半になるにつれ来客数が減少しており、購買意欲も再び下降気味となっている。
▲	百貨店（経営者）	販売量の動き	・初売りは前々年には満たないものの、久しぶりににぎわいを見せたが、月半ばからの新規感染者数の増加に伴い、ファッションアイテム中心に減速している。ただし、第5波のときほどの急激な落ち込みではない。
▲	スーパー（営業担当）	来客数の動き	・来客数の前年比が96.0%まで減少している。来店頻度が下がり、買い置き需要は高まっているが、来客数のダウンを客単価でカバーできず、売上も不振になっている。
▲	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス第6波の影響が出ている。
▲	衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況により、消費行動が変化している。年末年始にかけて新型コロナウイルス発生前のような状況に戻ったが、また悪化しつつある。

▲	衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が落ち着き、正月に帰省される人が多く、家族での来店が増えている。
▲	衣料品専門店 (総務担当)	来客数の動き	・収束感もあった新型コロナウイルス感染症だが、年明けの新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、週を追うごとに来客数が減少し、売上に影響している。
▲	家電量販店 (店長)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染者が拡大しており、来客数が減っている。
▲	家電量販店 (従業員)	単価の動き	・来客数、買上点数共に減少している。さらに、商品単価の下落も始めている。
▲	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・今年は雪が多い。さらに、新型コロナウイルスオミクロン株も発生したため、販売量が少し伸び悩んでいる。
▲	住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・受注生産のため今月製造分の受注量は少なかった。
▲	その他専門店 [酒] (経営者)	来客数の動き	・年明けは例年動きが少なくなる。前年と比べて余り変わりなかったが、月末近くになって新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置適用地域拡大で動きが完全に止まった。
▲	その他専門店 [食品] (経営者)	来客数の動き	・3か月前、新型コロナウイルスの感染も少し落ち着いていたので上向いてくるだろうと思っていたが、ここに来て新規感染者数増加の波が地方にも波及して人流がなくなっている。
▲	その他専門店 [ガソリンスタンド] (営業担当)	販売量の動き	・販売価格の異常なまでの高騰により節約志向が強くなっていく上に、新型コロナウイルスの感染拡大で外出が減っていることから、販売量が減っている。
▲	その他小売 [ショッピングセンター] (統括)	お客様の様子	・初売りからバーゲンセールと今月のスタートは順調だったものの、中旬以降、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、来客数、購買状況が急速に悪化している。
▲	高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・予約数、来客数が全く伸びてこない。
▲	観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により正月明けから客足は悪くなっている。ガソリン価格の高騰などの要因もあるとみている。
▲	観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・新規感染者数の増加のため、来客数が減り、予約数も伸び悩んでいる。
▲	観光型旅館 (経営者)	来客数の動き	・新規感染者数の増加により、1月中旬以降の予約はキャンセルが発生しており、新規予約も手控えられているような感じがある。
▲	タクシー運転手	お客様の様子	・20～30代はまだ動きがあるが、メインの客である50代以上の年配者は新型コロナウイルスオミクロン株を気にして動きが悪い。
▲	通信会社 (営業担当)	お客様の様子	・小売業、居酒屋への新型コロナウイルスの影響が大きく、売上が前月より厳しくなっている。観光業も燃料費の値上げ等更なる打撃を受けている。家計のやり繰りが厳しいという声も多く聞かれ、先行きの不透明感から景況感は前月より悪くなっている。
▲	通信会社 (営業担当)	単価の動き	・各種物価が上がっており、原油高が追い打ちを掛けている。新型コロナウイルス第6波の襲来もあり、景気は11～12月頃には少し上向き兆しがみられたが、年明け早々から下降気味になってきている。
▲	通信会社 (営業担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大により、新規感染者数が過去最多を更新し、まん延防止等重点措置の対象地域にもなった影響で訪問契約などにキャンセルが出ており、影響が出始めている。
▲	通信会社 (営業担当)	お客様の様子	・一時期良くなりかけたが、新型コロナウイルスオミクロン株の影響でまた厳しくなっている。
▲	美容室 (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で一週間ほど前から客のリターンサイクルが長くなっている。また、新規客も用心してなのか、数がかなり少なくなっている。新型コロナウイルスの影響で少し悪い方向に進んでいる状況である。
▲	住宅販売会社 (経営者)	来客数の動き	・若年層の戸建て住宅希望者は多いが、必然的に客単価が下がっている。

▲	その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大により外出を控える人が多くなっているため、全体の来場組数、見学件数が減少している。
×	商店街（代表者）	それ以外	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大の影響で、客の数が極端に少なくなっている。
×	一般小売店〔書籍〕（経営者）	販売量の動き	・新しい出版物の商品力低下や新刊点数の減少に加えて、新型コロナウイルスの影響による巣籠りがあり、ギフト以外の商材に関しては来客数、販売量共に落ち込んでいる。
×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	お客様の様子	・1月は成人式までは人も集まり、繁華街では新型コロナウイルス発生前のようなにぎわいをみせていた。しかし、新型コロナウイルス新規感染者数の急増に伴い、あっという間に人混みが消え、夜になると人のいない街にビルのネオンだけが輝いている状況になっている。
×	一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・今月中旬頃からの新規感染者数の急拡大を受けて、客先の飲食店ではほぼ全ての予約がキャンセルとなり、それに伴い販売量が急激なダウンに追い込まれている。新規感染者数が減少する見込みも全くないなか、販売量は更に落ち込むとみている。
×	一般小売店〔寝具〕（経営者）	販売量の動き	・商品がほとんど動かず、例年になく厳しい状況である。
×	スーパー（経営者）	お客様の様子	・可処分所得が伸びないなか、あらゆるものが値上がりしており、電気代、ガソリン代、灯油代、さらには食費にまで広まっている。客の行動は明らかに財布のひもが固くなっており、儉約・節約消費になっている。
×	コンビニ（経営者）	それ以外	・客足が落ち、除雪代や光熱費の負担が増えるこの時期に、更に新型コロナウイルスオミクロン株の影響が重なっている。10月の最低賃金の引上げもかなり痛い。売上は下がり、経費はかさみ、人手は足りず、経営自体が危ぶまれている。どうやってしのげばよいか、毎日苦悩している。
×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・年明けから雪が多く除雪作業などに追われ、後半は新型コロナウイルスオミクロン株のクラスターなどの影響で、来店もままならないような状況である。
×	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	販売量の動き	・年明け早々は新型コロナウイルスの影響もなく、このまま良い状態で進んでくればと考えていたが、月末からまん延防止等重点措置が適用になり一気に冷え込んでいる。年末年始は観光地に客が戻って活気が出たが、これでまた元のもくあみである。
×	高級レストラン（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株でどうにもならない状態になっている。次の一手もみえない。
×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染が拡大していることが露骨に来客数に現れており、最近では1日の来客数が数人程度になっている。
×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・11～12月は新型コロナウイルスの落ち着いたとともに来客数は増えた。しかし、1月に入り新型コロナウイルスの感染が日本全国に広がっており、当店でも来客数が9割減少したような状況である。
×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・月初めは予約が好調で良くなるかと思ったが、第6波の影響かキャンセルが相次ぎ、1月だけで70～80名分のキャンセルが出ている。客が全く来なくなっており、開店休業が続いている。
×	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・年末年始のエリア外との往来が原因か、新規感染者数が非常に増加しているというニュースが毎日発表されている。これでは不要不急の外出はできない。夜の繁華街はゴーストタウン化している。
×	観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・時期的なものに加えて、新型コロナウイルス第6波による新規感染者数の増加の影響が出ている。

	×	旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、まん延防止等重点措置が適用となり、個人旅行はキャンセルが相次ぎ、新規予約はない状況である。団体旅行は一般法人が依然として申込みがない状況が継続しており、教育旅行は1月中旬以降2月までの間で出発予定の修学旅行が中止となっている。3月以降分も中止又は延期が検討されている。旅行需要での景気は急降下している。
	×	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大に比例して、予約済みの個人旅行・団体旅行等のキャンセルが、直近のものから3か月以上先のものまで日増しに増えている状況である。
	×	旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・旅行業につき、感染者数と需要動向がリンクする。前年末までは活況を呈しており、今後の景気動向へも前向きな機運であったものの、年明けの感染拡大に伴い状況が一転し、厳しい状況となってきた。需要を下支えする各県の地域観光事業支援も変更又は中止がはじまっており、更に状況は悪化するとみている。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株による新規感染者数が、これまでの最大感染者数をはるかに上回り、若いも若きも外出を控える人が非常に多くなっている。タクシーは人々の外出が売上に直結しており、今月半ばから1日当たりの売上がダウンしている。
	×	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数が増え、比例するように日帰り客の減少、宿泊客のキャンセルなどが増え続けている。振出しに戻ったようである。
	×	その他サービス [自動車整備業]（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、地方でもクラスターが多数発生しており、市民活動は停止状態にある。来客も1日数人しかなく、1日の売上也前月の10分の1に激減している。
	×	設計事務所（経営者）	単価の動き	・公共工事の建築設計業務の入札において、最低制限価格が設定されていない自治体で、予定価格の20%程度での落札があった。また、最低制限価格が設定されている自治体においても、制限価格以下での応札が急激に増えた印象を受ける。発注件数が減少傾向にあるなか、価格競争が激化すれば、元々小規模の業態なので一気に悪化する懸念がある。
企業 動向 関連  (東北)	◎	*	*	*
	○	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・りんごの前年秋JA出荷分精算書が届いたが、販売単価が例年よりも2割程度良くなっている。
	○	建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・比較的規模の大きい民間案件の受注があった。
	○	金融業（広報担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルス第5波収束以降、個人消費の動きが活発化している。飲食・宿泊業含め、年をまたいで新型コロナウイルスオミクロン株感染が拡大しているなかでも、消費意欲の上向き傾向に変化はみられない。
	○	公認会計士	取引先の様子	・客の月次、決算状況から判断している。小売、サービス、飲食関係は消費者が戻って来て12月は売上が伸びている。建設関係も一定の売上和利益を確保しており、全体としては景気が良くなっている。
	□	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年11月くらいから人の動きが良くなり、初売りも人出が回復し10日くらいまでは売上也良かった。しかし、新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が増え始めると、人出も悪くなり売上也下がってきた。辛うじて、月初めの貯金により今月の売上は前年よりもプラスになる。
	□	食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・販売量が前年比90～95%の状態が続いており、3か月前と比べて悪い状況に変化はない。
	□	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・12月までは動きを感じていたが、1月に入って鈍くなっている。
	□	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・前年10月頃から原材料の値上げ依頼が増えてきた。販売価格に転嫁しづらかったが、企業努力にも限界があり、値上げ交渉を本格化していく。
	□	金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・受注予測は堅調である。しかし、先行きに関しては良い言葉を聞かない。

	□	電気機械器具製造業（企画担当）	取引先の様子	・半導体製品を使用した電気製品を開発する大手メーカーの動きに特に大きな変化はなく、周囲の景気にも大きな変化はない状況である。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	取引先の様子	・取引先における各種機器の保守点検や修繕に関し、事後保全での対応は変わっていない。
	□	建設業（従業員）	取引先の様子	・工事案件が少なく受注もほとんどない状況である。また、雪の影響で、仕掛かり工事も進捗が遅れている。
	□	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ここ数か月、会社全体の売上は前年を上回っているが、ごく一部の有期受注業務が押し上げているだけで、他の多くのセグメントではそれほど伸びていない。したがって、景気が上向いていると感じるところまで達していない。
	□	通信業（営業担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響はいまだ大きく、客の反応が厳しい状況は変わっていない。
	□	広告業協会（役員）	受注量や販売量の動き	・新規感染者数の急増でGo Toキャンペーンも早期に再開することが難しくなり、予定していた旅行会社、宿泊施設、飲食店等関連業種の広告出稿がストップしている。広告業界では業績が戻りつつあったが、更なる上積みは期待できない状況になっている。
	▲	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・新型コロナウイルスの影響により、米価の低迷が続いている。
	▲	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株感染拡大の影響で、イベントなどの業務の中止が増加している。
	▲	経営コンサルタント	それ以外	・新型コロナウイルスオミクロン株の急激な広がりが一気に消費にストップを掛けている。
	▲	コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・主力商品であるIT機器の生産が遅れており、納期が当初の予定よりまた延びることが判明し、代替機がないなか非常に苦勞している。今は通常どおりの生産体制に早く戻ることを祈るだけである。
	▲	その他非製造業〔飲食品卸売業〕（経営者）	取引先の様子	・取引先の地域のスーパー経営者数人から聞いた話である。ほとんどの店で来客数が前年比95%程度と減っているが、買上点数は105%程度となっており、総合的に売上金額は98%程度で、前年と比較すると良くないという状況である。
	▲	その他非製造業〔飲食品卸売業〕（経営者）	取引先の様子	・当県においても感染拡大が続いている。人々の防衛意識の高まりから、外食への人出が減少し、新年会の予約もキャンセルが多数出ている。昼間も在宅勤務が増えていることで中心部のランチ需要が減少しており、総じて飲食店を取り巻く環境は悪化している。
	▲	その他企業〔企画業〕（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルス感染の波が下火となった3か月前は町内の温泉街の宿泊施設でも予約上向きの兆しがみえたが、第6波が顕著となったこの1週間、予約のみならず日帰り客の足すら再び遠のいている。
	×	食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・1月初旬こそ良かったが、中旬以降、特に下旬は新型コロナウイルスオミクロン株の拡大により来客数が減っている。
	×	窯業・土石製品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・出荷の減少傾向が長く続いている。原材料や燃料の価格高騰もあり経営は厳しい。
	×	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・半導体不足による生産台数減産の影響で、生産工場の稼働停止や生産設備停止があり、注文数が減少している。
	×	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・第6波の影響で客足、受注量共に減少している。
雇用 関連 (東北)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数は新型コロナウイルス発生前の水準を大きく超えている状況である。一方で、東北以外に本社がある企業の東北勤務地求人増加が顕著になっており、東北地場企業としては採用競争となる会社が増えている。採用難易度が再び上がっている状況である。
	○	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・大規模な工場や大型ショッピングモールの進出が続いている。
	○	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・求職者数は減少傾向にあるが就職件数は落ち込んでいない。新規求人数は増加傾向が続いている。

○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・3か月前と比較して、新規求人数は約200人、有効求人数は約600人増加している。
○	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・タクシー、代行運転の求人が出ている。まん延防止等重点措置による飲食店等の制限がなくなったことが影響している模様である。
○	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・製造業で人材が不足している話はあるが、新型コロナウイルスの新規感染者数が増加し始め、この先はまだ不透明な部分もある。
□	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・3か月前と比べ、人材関連の企業、靴や医薬品の専門商社で求人活動を開始する企業が増えている。また、一時と比べると小売でも採用に踏み切るケースが増えている。ただ、飲食業はなかなか浮上のきっかけがつかめていないようで、3か月前と比べても、積極的に採用するという状況には至っていない。
□	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・良い状況になりつつあったが、再び新型コロナウイルス新規感染者数が増え、先が見えない状況になっている。
□	新聞社〔求人広告〕（経営者）	周辺企業の様子	・周辺企業の様子を見ても変わりはない。
□	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・離職を余儀なくされる求職者の数は減少し続けていて、企業の業績については上向きにみえている。しかし、新型コロナウイルスオミクロン株の影響が大きい観光・宿泊・飲食については、再び客足が減少しており、企業を苦しめている。
□	学校〔専門学校〕	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株へ置き換わり、新規感染者数が急増している状況である。県独自の緊急事態宣言も発出され自粛ムードが徐々に高まり、経済活動の影響が少しずつ出ている。
▲	アウトソーシング企業（社員）	それ以外	・落ち着いたと思った新型コロナウイルスの新規感染者数がまた増えており、会議がキャンセルになっているため、仕事が減っている。
▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告の扱い件数が減っている。その他の広告も減少傾向にある。新型コロナウイルスオミクロン株の登場と、新規感染者数の急拡大が大きく影響していると考えられる。
▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大を受けて県が独自の緊急事態宣言を出しており、再び、宿泊・飲食・イベント関連を中心に大きな影響が出ている。
×	*	*	*